

SSKS

あけぼの つうしん

4月号

1995年
2022年

8月10日
4月14日

第3種郵便認可(毎週1回 水曜日 発行)
SSKS 増刊通巻 第8461号



新しい仲間が増えました。(府中生活実習所入所式 2022/4/1)

社会福祉法人あけぼの福祉会 <http://akebono-fukushi.com>

- 府中共同作業所(法人本部) 〒183-0056 東京都府中市寿町3-3-6
☎042-367-0640 E-mail: kyoudous@akebono.fuchu.tokyo.jp
- ワークセンターこむたん 〒183-0056 東京都府中市寿町3-3-6
☎042-306-8639 E-mail: komutan@akebono.fuchu.tokyo.jp
- 府中生活実習所 〒183-0005 東京都府中市若松町5-2
(短期入所事業併設) ☎042-363-5251 E-mail: f-seijitu@akebono.fuchu.tokyo.jp
- 地域生活支援センターあけぼの 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル1F
☎042-358-1085 E-mail: siencenter@akebono.fuchu.tokyo.jp
- ホームヘルプステーションきぼう 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル1F
☎042-352-0630 E-mail: kibou@akebono.fuchu.tokyo.jp
- グループホームペンぎんはうす 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル3,4F
(グループホームあけぼのユニット) ☎042-319-8915 E-mail: pengin@akebono.fuchu.tokyo.jp
- グループホーム樹林の家 〒183-0026 東京都府中市南町6-52-10
(グループホームあけぼのユニット) ☎042-319-2268 E-mail: kirin@akebono.fuchu.tokyo.jp
- あけぼのショートステイ 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル2F
☎042-319-8917 E-mail: akebonoshort@akebono.fuchu.tokyo.jp

●印の事業所のメールアドレスが変わりました。

2022年度 府中生活実習所 入所式

府中生活実習所 入所式

府中生活実習所では、4月1日に2022年度の入所式を行いました。

今年度新しく入所された方は、東京都立武蔵台学園より荒井馨（あらいかおる）さん・東京都立けやきの森学園より飯尾有貴（いいおゆき）さんの2名です。

今年度も前年度に引き続き、コロナウイルス感染症対策から実習所全体ではなく、人数を制限して入所式を行いました。会場のホールは、お祝いの紅白幕や紅白の花道で飾られて、きれいな花束でお祝いの準備をしました。



当日は、保護者会役員の皆様、法人理事、施設長、所属するグループ利用者他6名の代表利用者が出席して、フレッシュな2人の門出をお祝いしました。

温かい拍手と素敵なピアノ演奏に合わせて2人が入場し、入所式が始まりました。来賓の方々の祝辞や出身校の担任からのお祝いのメッセージを真剣な表情で2人とも聞いていました。



よろしくお願いします！

荒井馨さんの紹介



荒井さんは、バイクが好きで、ご自宅でもバイク関連の動画を見たり、お休みの日にはバイクを見に行ったりしています。また、友達と関わることも好きなので実習所でも新しい人間関係を築いていって欲しいと思います。



午後の歓迎会

入所式を終えた午後の活動では、新しく所属するグループ内で歓迎会を行いました。初めは緊張した様子の2人でしたが、グループの皆さんとコーヒーやジュースなど好きな飲み物を飲みながら、和気あいあいと楽しい雰囲気の中、笑顔で過ごしていました。

これから府中生活実習所の一員として、充実した楽しい生活を送っていきたいと思います。



飯尾有貴さんの紹介



飯尾さんは、音楽が好きでジャンルを問わずに聴いているそうです。実習中も全身でリズムを取りながら音楽の活動やバランスボールを楽しんでいるのが印象的でした。実習所でも好きな活動を楽しみたいです。



緊張もほぐれました♪



グループの皆さんと乾杯！

ワークセンターこむたん

祝 勤続 20 年

～北澤裕二さん 工藤玉青さん～

4月1日、ワークセンターこむたんにて、食品事業部製造課に所属する北澤裕二さん、工藤玉青さんの永年勤続表彰式を行いました。



会場で記念撮影

残念ながら、北澤さんは所用にて欠席ではありましたが、オンラインでこむたん4階のメイン会場と3課の活動室をつなぎ、心のこもった温かな表彰式となりました。

式では、北條施設長からのお祝いの言葉に続き、ともに働くなかまたちから「先輩として後輩にいろいろ教えてくれてありがとう」「これからも一緒に無理なくがんばりましょう」などたくさんのお祝いの言葉をもらいました。また、サプライズゲストとして、現在は法人の別事業所で勤務する鈴木職員、そして、大好きなお母さんからのメッセージも紹介されました。

春らしいピンク色のシャツに濃紺のパンツスーツを着こなした工藤さんは、いただいた言葉にしっかり頷きながら耳を傾けていましたが、表彰の瞬間には笑顔があふれていました。「20年前はおかし班でマフィンをつくっていました。こむたんに来てからは、バラエティ作業課、喫茶課、製造課とたくさんの仕事をしました」など、20年を振り返りながらも、最後にひときわ大きな声で「これからもパンをがんばっていきます」と宣言する姿は、さすが勤続20年のベテランと感心させる自信にあふれていました。



表彰状を受け取る
工藤さん



勤続20年、おめでとうございます。今後ますますのご活躍を期待しています！



桜まつり販売奮闘記

～2年振りの開催！～



毎年4月に開催される「府中市民桜まつり」は、府中共同作業所にとって大きな販売イベントの一つです。しかしコロナ禍において、昨年、一昨年と開催が中止となっていました。「桜まつり」を筆頭に約2年の間、ほとんどの販売イベントがなく、利用者の方々が日々生産している自主製品を販売する機会を失っていました。

そんな中、2年振りの開催が決まった今年の桜まつり。ようやく販売できることの喜びをかみしめ、利用者も職員も胸をはらせて当日を迎えました。

「いらっしゃいませ」と、元気な声でお客様の呼びこみをするのも久しぶりです。そんな代表参加の利用者を応援するかのよう、何人もの利用者のご家族やヘルパーと共にお店に来られ、販売を盛り立ててくれました。

また、販売イベントのたびに顔を合わせる他の作業所の方々とも「元気でしたか」「久しぶりの販売で嬉しいですね」などと、会話がはずみます。販売を通して、多くの方とのつながりが戻ってきたことを実感しました。

販売に精を出す利用者の方々はというと…。自分が生産に関わった商品を買ってもらえると「私がミシンで縫いました」と、満面の笑顔で挨拶。「よくできていますね」「これはとっても丈夫でいつも愛用しているのよ」など、お客様の声を聞くたびに、

作った商品がお客様に喜ばれていること、そしてお客様のお役に立てていることを実感されるからでしょうか、見せる表情はとても誇らしげです。

あいにく、2日目は雨の中ではありませんでしたが、「何としても一つでも多く売らなくちゃ」「雨なんかに負けちゃいけない」そんな意気込みが伝わってくるような奮闘ぶりでした。

これまで、当たり前のように様々な場所で販売を行ってきました。作ったものを売り、収益を生むことが目的ではありますが、それだけではない大きな意味があることを、「販売」からしばらく離れたからこそ味わうこととなりました。

お客様とのやりとりを通して働く喜びを味わうこと、地域や社会とのつながりを感じて潤いのある生活を実感すること、働く仲間同士で協力・共感することで力を蓄えることなど、大切な要素がたくさん含まれていることを、改めて感じた時間となりました。

いらっしゃいませ～！



透明シートで感染対策もしながらの販売でした

新入職員紹介

今年度、あけぼの福祉会には6名の職員が入職しました。今月から順番に紹介させていただきます。

府中共同作業所 生活支援員 長田 典子（おさだ のりこ）



4月より府中共同作業所に入職し、あおぞら班に配属になりました長田典子です。

利用者の皆様や職員に出会えて、毎日一緒に作業や活動をとみのできる時間を、とても楽しく感じています。

私の好きなことは、休日に少し遠出をしてきれいな景色や植物の写真を撮ったり、静かな空気を感じたりすることです。都会では聞こえないような波の音や鳥のさえずり、風の通り抜ける音など、自然の奏でる音色は私の心に優しく寄り添ってくれるようでとても癒され元気になれます。

不慣れなことが多く、学ぶことの多い日々ですが、利用者の作業所生活を支えられる職員となれるよう努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

1995年
2022年

8月
10日
4月
14日

第3種郵便認可
発行 SSKS

（毎週1回
増刊通巻

水曜日 発行）
第8461号

あけぼの福祉会後援会よりお知らせ

日頃より、あけぼの福祉会後援会を支えて下さっている皆様に、心より感謝申し上げます。さて、毎年4月末に後援会総会を行い、決算を含む事業報告等のご審議をいただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、今年も総会を中止させていただくこととしました。尚、議案書につきましては、役員会メンバーにて確認をさせていただき、改めてご報告させていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

【編集後記】

4月に入り暖かな日が増え、春の陽気で半袖の出番も増えて来そうですね。

私が勤務している樹林の家では、入居者が運営している「樹林の会」という利用者自治会があります。新年度に入り代表者を決める話し合いがありました。代表者としての仕事を通じてやりがいや、スポットライトが当たる事もあり、立候補にて男性2名・女性2名で決まりました。早速、代表者での会議等も始まり、やる気に満ち溢れた様子が伺えました。

なかなか新型コロナウイルスの新規感染者が減らない現状もありますが、樹林の家で行事や快適な生活について入居者と一緒に考えて行きたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

（グループホームあけぼの樹林の家 藤井拓也）